

3. 京都華頂大学・華頂短期大学

テーマ	初年次教育における課題と今後の展望 ー大学生生活スタートブック改訂に向けてー	
発表代表者	根岸 裕子 京都華頂大学 現代家政学部・准教授／教育開発センター・主事	
連名発表者	渡邊 雄一 京都華頂大学 現代家政学部 講師／教育開発センター 専任研究員 坂口 みゆき 華頂短期大学 幼児教育学科 准教授／教育開発センター 専任研究員 塩田 二三子 京都華頂大学 現代家政学部 教授／教育開発センター 専任研究員 高岡 理恵 華頂短期大学 専攻科介護専攻 教授／教育開発センター 専任研究員 松尾 章子 華頂短期大学 総合文化学科 教授／教育開発センター センター長	
キーワード	初年次教育	教材改訂
	学生のニーズ	社会人基礎力
発表の概要	大学・短期大学への全入時代に突入し、学習意欲の低下や目的意識の希薄化など学生の在り方も多様化している。本学では、大学で求められる主体的な学びに移行するため、2020 年度より本学教員により作成された共通教材の使用による全学的な初年次教育のプログラム「基礎ゼミナール」「総合基礎演習」が展開されている。現在 4 年が経過し、その間にコロナ禍により教育現場の DX が強制的に求められ、大学での学びについて変革が求められるようになった。さらに昨今の社会状況により学生のニーズも変化してきている。そこで、学生と教員双方へのアンケートおよびインタビューにより現況を調査し、課題を共有するとともに、改訂に向けての取り組みおよび今後の展望を報告する。	